

第6地区コミュニティ

第6回防災訓練を実施

事業実施部会



令和5年10月22日(日)午前10時より第6小学校の校庭及び体育館に於いて第6回防災訓練を行いました。前回の第5回目は平成30年の10月に行いましたが、コロナウイルスの影響で長い間実施していなかったため「5年ぶりの防災訓練」となりました。

当日は天候に恵まれ快晴の中、総勢200名の参加者があり、大変有意義な「防災訓練」となりました。

古河消防署、女性消防団、第七分団の皆様のご指導により4グループに分かれ、校庭では「消火器による消火訓練」と煙用テントの中での「煙体験」を行い、体育館ではAEDを使用した「心肺蘇生訓練」とNTTさんの協力による「災害伝言ダイヤル」の使い方などを指導して頂きました。訓練については1工程で約20分程度の実習訓練を行い10時20分から12時まで自治会員の皆様が訓練を行いました。子供用の消防服が準備されていてヘルメット着用で放水訓練を行う姿が印象的でした。



今年も日本全国で多くの災害(地震、集中豪雨による水害等)が発生しました。今年の夏は非常に暑く、四季の移り変わりが大きく変化して四季⇒二季になろうとしています。

関東地方の真ん中にある古河市ですが、いつ、いかなる災害に遭うかわかりません。常に災害がある事を前提に備えたいものです。今回の防災訓練で改めて災害が発生した時の状態とそれに対応する行動が大切であることを思い知らされました。このような訓練を毎年行えたら良いと思います。

●消防署職員



●各自治会の参加者



●消火器による消火訓練



●参加者による消火訓練



●煙体験（煙テントの中で実際の煙の状況を確認）



●テントの中の煙の状態



●外に出た状態（中ではほとんど見えない）



●小学校の先生も体感



●心臓マッサージのやり方を指導（女性消防隊員）



●AEDによる心肺蘇生訓練



●電気ショック用のパッドを体に取り付ける



●参加者にマッサージをしてもらう（速さを体感）



●災害用伝言ダイヤル



●NTT東日本さんの説明



●伝言ダイヤルをやってみる



●子供による放水訓練



●実際に水を出して放水



●消防車運転席での機器類の説明



●消防車のポンプ類の説明



●小川第6地区長による総評



●第7分団による模範放水



●放水するポンプ車



●目標に向かって放水開始

